



No.787  
2022.9.1

発行：男声合唱団 昴  
レッスン会場：  
大阪市中央区谷町7丁目1-39  
谷町第2ビル308号 わむかホール  
連絡先：090-6058-5652(立川)

## 昴第22回総会開かれる 2023年第14回コンサートに向けて 新しい指揮者と共に、若々しく楽しい活動を広げよう

8月29日(日)、環状線天満駅前国労会館で、昴第22回総会が開かれました。

参加者は、回員21人、日曜回員1人、委任状8人。計30人。他に、本並さん、坂井さん、森さんが参加されました。

総会は、議長を大島さん、書記を更家さんに選んで始まりました。

千秋団長の開会あいさつ、運営委員会からのこの1年の振り返りとこれからの1年の活動方針、各部からの報告の後、約30分間の討議、休憩をはさんで財政部からの報告・提案と討議を経て、次期役員の方針の後、最後に採決を行い、全員の賛成で承認され総会を終えました。

今回、昴の活動を支える財政的観点から、レッスンの実施や徴収会費などの変更が提案・承認されましたのでご注意ください。

(討議の主な発言は2面に掲載)

総会終了後、午後5時まで大阪合奏に向けた特別レッスンを行いました。



### 財政の変更点

- 特別運営費 1000円/月の徴収(回費とは別に) 期間限定で、9月～来年コンサートまでの間。回財政赤字補填のため。
- 大阪うたごえ協議会の加盟費・分担金の変更調整

### レッスン関係の主な変更点

#### ○第5金曜日のレッスン取りやめ

財政上、全体レッスンの回数を減らすため。日曜回員も参加する第5日曜日は実施。

#### ○T1・T2のパートレッスンを合同で

Br・Bsの合同レッスンを含めて同一の講師で実施。

(10月の団内コンサートまでは今までどおりで実施し、その間に開催日時検討、講師との調整を行うことになりました)

#### ○声楽教室の受講生を増やす

### 新役員体制について

#### ○昨年からの変更点

- 名誉指揮者 本並美徳
- 指揮者 本並美徳→坂井威文
- 広報部長 吉川勝彦→吉岡 敬
- T1パートマネージャー 吉岡 敬→小西 隆
- サブパートマネージャーは設けない
- 会計監査 佃 裕司・鈴木淳一  
→向井勝弘・中谷清一

## 8/28総会での主な発言

### レッスンについて

○暗譜で歌いながらいる曲を慣れで歌っている人と新人が楽譜で歌うとずれが生じる。そこを埋めるレッスンが必要。

○コンサートに向かって、あまり頑張って新しい曲を増やさずに、過去に歌った曲も含めて、ゆとりをもって練習できるようにしてほしい。

○レッスン内容が緩慢になっていたところがある。新しく坂井さんに指揮をお願いして、ときばきと新しい課題を提起して、また丁寧に指導していただいている。

録音して復習するなど、体調と相談しながら意欲をもってレッスンに参加してほしい。

○年齢的にゆるくなっている部分はあるが、年齢に甘えることなく、みんなで歌いたいという思いをもってこれからも続けていきたい。

### 団員拡大について

○少しのつながりでも、「いっしょに歌ってほしい。」と昂の魅力を語ってお願いすることに尽きる。

○友の会、日曜団員が今はつながりに限られているが、一人二人と勧誘していきましょう。

### オーケストラとの共演について

○来年、アマチュアオーケストラと男声合唱の共演の話がある。ウクライナ侵攻を受けて、ナチスの虐殺をテーマにしたショスタコーヴィチの交響曲を演奏。(別表に詳細) 昂を中心に、男声を公募したら団員増のきっかけになる。

○難しいかもわからないが、チャンスを生かすためにぜひ前向きに検討したい。

### 広報について

○レッスンの内容の詳しい情報など、他のところでは見たこともないニュースを作っていた。

### 財政について

○パートレッスンの変更には、参加できない人が出てくる。パートの中で話し合いたいので時間が必要。

○1000円増はごまかしのよう感じ。新しい人にはきっちりと説明が必要。

○回費を4000円にする方がすっきりするのではないか。

○来年のコンサートで収益が出れば、特別運営費の徴収はそれ以後しなくて済むので、とりあえずは期間限定でやって、コンサートの後もう一度検討したい。

### 日曜団員の位置づけについて

○日曜団員は、1回1000円の参加費をもらうことになっているが、予算書では回費になっているのはなぜか。総会での議決権は？  
○1回ごとの参加費が正しいけれど、日曜団員の位置づけについてきちんと論議をしていなかったもので、会則に明記するように今後検討する。

### オーケストラとの共演(坂井さんから)

2023年5月21日(日)

豊中市立文化芸術センター大ホール  
アマチュアオーケストラ

「アンサンブル・フリー」

ショスタコーヴィチ 交響曲第13番

「バビ・ヤール」

バビ・ヤールは、ウクライナのキエフ北西にあるバビ・ヤール峡谷のこと。第二次世界大戦中の1941年から43年にかけて、キエフを占領したナチス・ドイツ軍親衛隊による大量虐殺があり、ユダヤ人を中心にジプシーやウクライナ人ロシア人などの一般市民も含めた2万人以上、一説には10万人が虐殺されたと言う。ナチスドイツ軍は敗退する時、死体を焼却し隠蔽したとされる。

1962年、青年詩人エフトシェンコの、ユダヤ人迫害の歴史から当時のソヴィエトにはびこる反ユダヤ主義までをかなり挑発的に歌っている「バビ・ヤール」という詩をもとに、ショスタコーヴィチがオーケストラ・バス独唱・男声合唱の交響曲にした。初演の時から当局に圧力をかけられている。

### 9月以降の活動スケジュール

(レッスン、会議など定例的なものを除く)

9/11(日) 大阪合衆(LICはびきの)

9/19(祝) 創作交流合衆(サンスクエア堺)

10/1(日) 日中友好記念碑落成盛典

(ドーンセンター)

10/30(日) 団内コンサート(ねむかホール)

11/12(日) かわち野医療生協50周年の集い

(八尾プリズムホール)

12/2(金) 日本のうたごえ全国交流会in愛知

合衆一般の部B(名古屋フォレストH)

創作(名古屋ビレッジH)

12/3(土) A、交流、女性、小音楽会

12/4(日) 職場、特別音楽会